

# フレックス工業（株）の環境行動計画

平成21年7月24日

## ■ 取組方針

### 環境基本理念

フレックス工業株式会社は、建築工事業 設計・施工を行っていますが、環境保全に取り組むことが地域社会を構成する企業市民としての責務であることを認識し、住みよい社会と豊かな自然を将来世代に伝えることに貢献します。

### 環境行動指針

私たちは、当社の事業活動が環境に及ぼす影響を最小限にとどめるために、以下の行動に取り組めます。

- ① 事業活動中での省エネルギーと省資源（紙使用量の節減・節電）
- ② 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底
- ③ 廃棄物の削減とリサイクルを進めます
- ④ 資源の有効な利用を図ります

この方針にそって、全ての従業員が高い環境意識をもち、環境に配慮した行動ができるように、環境教育を実施します。また、地域での環境保全活動に積極的に参加できるように、支店内の制度を整備します。

平成21年7月24日

フレックス工業株式会社  
代表取締役 中西 快樹

■ 環境負荷低減の取組

当社では、事業活動に伴う環境負荷を削減するための取組目標を掲げ、目標を達成するための具体的な取組を設定して取り組むこととしています。設定した取組目標と具体的な取組項目は、次の通りです。

目標一1	二酸化炭素の排出量を、20年度(40,286 kg-CO <sub>2</sub> )を基準として22年度までに5%削減する
具体的な取組	<p>(事務所での取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 冷房温度(28度)と暖房温度(20度)を厳守する</li> <li>② 昼休みの消灯、パソコン・コピー機の電源OFFを徹底する</li> <li>③ 休日前には、パソコンのコンセントを抜いておく</li> </ul> <p>(車両の使用に関する取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>④ アイドリングストップを徹底する</li> <li>⑤ 車両の点検を定期的に行う</li> </ul>

目標一2	産業廃棄物の排出量を、20年度(73,407ト)を基準として22年度までに2%削減する
具体的な取組	<p>(事務所での取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① シュレッダーの使用は機密書類に限定する</li> <li>② ファイル、フォルダーなどは繰り返し使用する</li> </ul> <p>(商品の仕入れ・販売に関する取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>③ 新しい製品カタログを受け取る際には、旧版を引き取ってもらう</li> </ul> <p>(産業廃棄物に関する取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>④ 廃棄物管理票(マニフェスト)の管理を徹底する</li> <li>⑤ 廃棄物の分別を再検討し、置き場を整備する</li> <li>⑥ 建築現場の廃棄物について、同様分別しリサイクル・リユースに努める</li> <li>⑦ ウェス、軍手は使用限度を定め、無駄に廃棄しない</li> </ul>

目標一3	コピー用紙の使用量を、20年度(166kg)を基準として22年度までに5%削減する
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 作成した資料は、パソコン画面上での確認を徹底する</li> <li>② 社内資料は、両面コピー、縮小コピー、裏紙利用に努める</li> <li>③ コピー機のコピーボタンを押す前に、必ず設定を確認する</li> <li>④ 電子メディアの利用によってペーパーレス化を推進する</li> </ul>

目標一4	その他の取組
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 台所の節水に努める</li> <li>② 会社周辺の歩道・駐車場を清掃する</li> </ul>

■ 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画にそって環境保全活動を推進するために、社長を委員長とする環境推進委員会を設け、全従業員が「具体的な取組」を実行します。